

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

8月号(NO11)通巻 161号

2019年8月10日(土)発行(毎月10日)

【農暦】それにしても酷暑が続く！

○暑い日が続く。熱中症で倒れ搬送のニュースが続く。不要不急の用事は控えてに反応して、ずぼらを決め込む。それでもできる範囲で草刈りをする。雨が降っても土煙が上がる。手入れの行き届かない畑は草の繁茂が速い。トマト、胡瓜のダメージは大きい。葉が痛んでいる。黄色のトマトのアイコが2本枯れてしまった。酷暑である。

○荒れた畑を見るのは寂しい。草の繁茂力に負けた景色も見たくはない。雑草は人間の生活領域に生息するというが逞しい。梅雨明け後は酷暑が続く。エアコンがなく(付けない)で、熱中症で亡くなった人がいるという。大変な暑さだ。

○こんなタイミングにエアコンが2台故障した。1台は大型エアコンでカバーすることにした。2台目は修理不可で、取り換えて、10日待ちである。この暑さで故障が増えているようだ。出費が嵩む。思わぬ出費に不安が募る。生活の維持のコストは考えなくてはならないのだが、余裕が無くては準備が出来ない。老後2000万円不足(金融庁レポート)はリアルな話である。

○どうも畑をどうするかではなく。どうしたいかが最近無くなっている。最近はいろいろなものの故障修理が続く、現状維持に四苦八苦している。菜園も同じである。やはり考え方もやり方も考えなくてはと思う。菜園を楽しむスタイルを捜したいが、試行錯誤が続いてしまう。それにしても酷暑が続く、ちょうど良いと思える気候がない。農作業する時間は減るばかりである。

○先月中旬からトマト、茄子、胡瓜が少しずつだがとれている。品質も悪いし量も少ない。トマト、茄子、胡瓜に、ピーマン、隠元も食卓に載る。黒豆と小豆は、この気候もあつてか、発育は今一つである。体力と気力を考えると菜園は、このレベルだと思うことにする。(了)

【楽農】<畑>トマト、茄子、キュウリ、ピーマン、隠元など少量収穫(26~日)。

*炎天で無理禁物、ずぼらを決め込。夏野菜のダメージ多し。

【楽市】イベント交流・直売など。

○イベントなど；小学校同窓会(23日)、山野草の会・文月会(26日)、エコピア柏解散会(29日)、詩吟例会(11・25・8日) 共生の会(1日)、川柳の会(1日)に参加など。



<トマト、茄子、胡瓜>
12日撮影



<トマト>6日撮影

【つぶやき=Tweet】インド独立の父・ガンジーは！

○「表現の不自由展中止」「香港でゼネスト」「20歳渋谷メジャーV」「日本核廃絶主導を（広島市長）」「核禁条約に言及せず（首相）」「森友問題捜査終結」これは8月初旬の新聞の見出しである。説明は不用であると思うが、今の社会を映しだしている。渋谷メジャーVに象徴されるように若者の活躍だけが救いである。渋谷のスマイルに即ファンになってしまう。

○東洋のシンドラー”とも呼ばれた杉原千畝はナチス・ドイツの迫害から逃れてきた6000人にもものぼるユダヤ系の人々に大量のビザを発給し救ったことから呼ばれた。海外での評価は高かったものの、日本では知る人ぞ知る存在でした。帰国からわずか2ヵ月後に外務省から退職勧告、事実上の「罷免」をされた。名誉回復されたのは河野洋平外務大臣（今の外相？の父）であると言う。

○「あなたは日本人のくせに、杉原千畝を知らないのですか？」と米国で言われた話がある。日本の事を海外の人が知っていて日本人が知らない（知らされない）ことがある。井の中の蛙にはなりたくないものである。特に外交問題、国際的の取り組みや評価などは都合のよい事しか伝わって来ない可能性がある。マスコミの問題は注視しないと大変な国になってしまう。

○参院選の結果で“安倍首相は22日の記者会見で「信任」を口にし、「少なくとも議論を行うべきだ、という国民の審判が下った」などと改憲に前のめりの姿勢を見せています。これには、一般メディアからも「全有権者の5人に1人以下の支持しか得ていない計算だ。これでは民主主義の基本とされる『多数決』『多数派による支配』ではなく『少数決』『少数派支配』である」（山陰中央新報社説）など”をネットで見た。自民党の得票数（有権者の16.7%。投票得票率は35.4%）を計算していたので同感である。

○話題は変わるが、インド独立の父・ガンジーは“世界に広がる悲惨な貧困もこの必要以上の所有に因るといえると。生きる上で真に必要なものへ問いなしに、正しい生はありえない。（朝日28日折々のことば）”と。必要以上のものを所有するのは盗みであるといっている。豪華旅行企画、贅沢な生活、特権的な給与などを見せつけられる社会にあって考えさせられる言葉である。

○宝くじが当たったらお礼を上かばら撒きたい”と云ったFさん冗談が真摯なものに感じる。サマージャンボを購入した。経済的不安払拭への夢と僅かでも社会福祉のカンパに？と思ったからである。私の誕生日に友人とのメールで“誕生日は感動のない歳に。”“骨・筋肉の貯金は出来ない、健康も同じで。人生も過去でなくこれからを。”などと送信していた。（了）

○断捨離考：ガンジー言葉を噛みしめ。少しずつ進める。【後記】炎天。癒しの赤いトマトのKogure農場に。【特に編集せずランダム構成】



＜折鶴蘭＞ラン科でなく
ユリ科で南アフリカ原産。6日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com